

令和7年度
教科名等

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
人間と社会	1	A B C D E F	1	必修修	35 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	人間と社会(東京書籍)
使用教材等	なし

科目の目標

学習目標	【知識及び技能】探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。 【学びに向かう力、人間性等】探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。
------	---

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	A 学術的なテーマに目を向け、興味関心を探る 【知】学術的なテーマや問いの種類について理解するとともに、探究するために必要な思考ツールの使い方、問いの出し方、書籍・論文などを用いて情報を収集する技術を身に付けること。 【思】読書活動を通して問いを深め、その問いについて書籍や論文を使って、情報を収集し、調べた内容を他者に表現すること。 【態】学術的なテーマに対して、主体的に関わり、振り返ったりするなど、探究しようとする態度を養う。 B 社会に目を向けて、自己の興味・関心を探る 【知】社会的なテーマや社会での様々な生き方について知るとともに、探究するために新聞などを用いて情報を収集する技術を身に付けること。 【思】新聞学習を通して問いを深め、その問いについて書籍や論文を使って情報を収集したり、新聞の比較などを行ったりして、調べた内容を他者に表現すること。 【態】社会的なテーマに対して、主体的に関わり、振り返ったりするなど、探究しようとする態度を養う。興味・関心に価値を見出すプランを立て、学ぶことの意義・働くことの意義について探究しようとする態度を養う。	A ・マインドマップを使った自己分析 ・新書マップを用いた書籍検索 ・カーリルを用いた図書館検索 ・読んだ本を紹介しよう。 ・J-stageを用いた論文検索 ・問いの立てる、問いを発する ・リサーチクエストを立てる B ・起業家による出張授業 ・新聞を読んで社会を知る ・知識を蓄えて、討論しよう ・興味・関心に価値を見出すためのプランを立てよう。	A 学術的なテーマに目を向け、興味関心を探る 【知】学術的なテーマや問いの種類について理解するとともに、探究するために必要な思考ツールの使い方、問いの出し方、書籍・論文などを用いて情報を収集する技術を身に付けている 【思】読書活動を通して問いを深め、その問いについて書籍や論文を使って、情報を収集し、調べた内容を他者に表現している 【態】学術的なテーマに対して、主体的に関わり、振り返ったりするなど、探究しようとしている。 B 社会に目を向けて、自己の興味・関心を探る 【知】社会的なテーマや社会での様々な生き方について知るとともに、探究するために深部などを用いて情報を収集する技術を身に付けている。 【思】新聞学習を通して問いを深め、その問いについて書籍や論文を使って情報を収集したり、新聞の比較などを行ったりして、調べた内容を他者に表現している。 【態】社会的なテーマに対して、主体的に関わり、振り返ったりするなど、探究しようとする態度を養う。興味・関心に価値を見出すプランを立て、学ぶことの意義・働くことの意義について探究しようとしている。
2	A 興味・関心ポスター発表会 【知】プレゼンテーションの方法について理解するとともに他者の発表に対して質問をする技術を身に付けること。 【思】夏季課題として調べた内容を他者に表現すること。 【態】他者の発表に対して、主体的に関わり、探究する態度を養う。 B コース別探究活動 【知】自らの興味・関心を元に選んだコースにおいて、探究する方法について理解するとともに、一次情報を収集する技術を身に付けること。 【思】実験やフィールドワークなどを使って、情報を収集し、調べた内容を他者に表現すること。 【態】自らの興味・関心に基づくテーマに対して、主体的に関わり、振り返ったりするなど、探究しようとする態度を養う。他者の発表を聞き、自分にとっての学ぶことの意義・働くことの意義について探究しようとする態度を養う	A ・夏季課題のクラス発表会 ・夏季課題の全体発表会 B ・専門家講習会 ・校外フィールドワーク ・コース別調べ学習 ・コース別ディスカッション ・コース別発表会 ・全体発表会	A 興味・関心ポスター発表会 【知】プレゼンテーションの方法について理解するとともに他者の発表に対して質問をする技術を身に付けている。 【思】夏季課題として調べた内容を他者に表現している。 【態】他者の発表に対して、主体的に関わり、探究するしようとしている。 B コース別探究活動 【知】自らの興味・関心を元に選んだコースにおいて、探究する方法について理解するとともに、一次情報を収集する技術を身に付けている。 【思】実験やフィールドワークなどを使って、情報を収集し、調べた内容を他者に表現している。 【態】自らの興味・関心に基づくテーマに対して、主体的に関わり、振り返ったりするなど、探究しようとしている。他者の発表を聞き、自分にとっての学ぶことの意義・働くことの意義について探究しようとしている。
3	A 企業×探究 【知】企業が扱う実社会における課題を解決するために、探究のスキルが必要であることを理解し、情報を収集する技術を身に付けること。 【思】企業が扱う実社会における課題の背景や影響を知り、解決する方法の効果について、情報を収集したり、自分たちで考えた企画を他者に表現すること。 【態】企業が扱う実社会における課題に対して、主体的に関わり、振り返ったりするなど、探究しようとする態度を養う。興味・関心に価値を見出すプランを立て、学ぶことの意義・働くことの意義について探究しようとする態度を養う B まとめ 年間を振り返り、学ぶことの意義・働くことの意義について考えを深める。 総合的な探究の時間で扱う探究テーマ及び進路プランについて考えを深める。	A ・企業と連携した企画会議ロールプレイ型授業 ・課題解決会議 ・効果や需要の測定 ・プラン発表会 B ・教科書を用いた学ぶことの意義についてのグループディスカッション ・教科書を用いた働くことの意義についてのグループディスカッション ・あり方・生き方プランの作成	A 企業×探究 【知】企業が扱う実社会における課題を解決するために、探究のスキルが必要であることを理解し、情報を収集する技術を身に付けている 【思】企業が扱う実社会における課題の背景や影響を知り、解決する方法の効果について、情報を収集したり、自分たちで考えた企画を他者に表現している 【態】企業が扱う実社会における課題に対して、主体的に関わり、振り返ったりするなど、探究しようとする態度を養う。興味・関心に価値を見出すプランを立て、学ぶことの意義・働くことの意義について探究しようとしている。 B まとめ 年間を振り返り、学ぶことの意義・働くことの意義について考えを深められている。 総合的な探究の時間で扱う探究テーマ及び進路プランについて考えを深められている。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。